

ファッション造形基礎 学習指導案

日 時 令和5年1月26日(木) 5校時
場 所 鹿児島県立垂水高等学校 被服実習室
学 級 生活デザイン科 2年2組 12人
科目名 ファッション造形基礎
教科書 ファッション造形基礎 実教出版
授業者 東馬場 朋子

- 1 単元名 「洋服製作の基礎」
小単元 「ブラウス・シャツの製作」

2 単元の目標

(1) 【知識・技術】

洋服製作の基礎について理解し、関連する技術を身に付けること。

(2) 【思考・判断・表現】

洋服製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができること。

(3) 【主体的に学習に取り組む態度】

洋服製作の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組むこと。

3 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
洋服製作の基礎について理解し、関連する技術を身に付けることができる。	洋服製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、課題を解決するための工夫を身に付けている。 作品の発表等を通して、製作への意欲を高めることができる。	洋服製作の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

4 単元観・生徒観・指導観

(1) 単元観

本単元では、ブラウス・シャツの製作を通して、接着しんの扱い方やえりの作り方、そでの付け方等の被服製作に関する基礎的・基本的な知識・技術を取り扱い、計画に従って洋服を能率的に製作できるようにすることをねらいとしている。

シャツは年齢や男女を問わず着用でき、シャツ製作の実践的学習活動をとおして、洋裁の基本的技術を学ぶことができる。また、縫合による立体化を理解できる立体構成衣服である。さらに、タックやギャザー等の工夫を加え、さまざまなデザインのシャツを製作することで、創意工夫による主体的な学習態度の向上、技術を身に付けさせる上で必要な単元であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級は、男子3人、女子9人の合計12人を分割して授業を行っている。少人数でお互い質問をしやすい雰囲気があり、被服実習においても生徒同士で教え合うなど協力しながら活動する姿が見られる。中には、長期間かけておこなう縫製作業に集中力が続かない生徒、技術の習得には個人差があることから、製作に時間がかかってしまう生徒もいるが、日常着の製作をとおして着実な技術の向上がみられ、新しいことに挑戦してみたいという意欲も高まっている。

(3) 指導観

本単元の洋服製作においては、基礎的な理論や技法を身に付け、寸法に基づいて裁断した後、縫合による立体化を理解させることが重要であると考えます。実習の説明方法として分かりやすい順番のアンケートをおこなった結果、最も分かりやすいのは、実際に目の前で見る師範であった。次に、動画、板書、自分でまとめたノート、教科書やプリントの図という順であった。

自分の好きなデザインにアレンジしたものを製作することで、楽しみにしている生徒も多く、型紙の展開方法等、さらなる技術の定着が図れるように指導を工夫したい。

また、本時の学習においては、平面的な布を部分的に曲面化する方法として、ギャザーの技法を身に付けさせたい。

5 指導計画（全24時間）

(1) デザインの決定とパターンづくり	2時間
(2) 裁断	2時間
(3) 仮縫いと補正	2時間
(4) 本縫い	4時間（本時1/4時間）
第1段階 身ごろづくり	4時間
第2段階 えりつくりとえりつけ	5時間
第3段階 脇ぬい・すそのしまつ	2時間
第4段階 そでつくりとそでつけ	5時間
第5段階 ボタン穴・仕上げ・ボタンつけ	2時間

6 本時の実際

- (1) 主題 「ギャザーの役割と縫い方を学ぶ」
- (2) 本時の目標 ギャザーの役割、縫い方を理解し、布の立体化の方法を習得する。
- (3) 本時の評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ ギャザーの役割を理解する。 ・ 布地の性質と扱い方を理解し、関連するギャザーの技法を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 布の種類や分量によるギャザーの違いを調べ、体験的に考えようとする。 ・ 洋服製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洋服製作の基礎について自ら学び、計画に従って、製作できるように取り組むこと。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	形態	指導上の留意点【評価の観点】	資料等
導入	1 前時までの内容の確認 振り返り	個人	・ 進度表から進捗状況を振り返り、手順を再確認する。	進度表
5分	2 本時の学習内容の確認 見通し 「ギャザーの役割と縫い方を学ぶ」	一斉	・ そでや身ごろに使用する「ギャザー」について学習することを提示する。	ワークシート

<p>展開</p> <p>40分</p>	<p>3 ギャザーの役割を考える。 実践</p> <p>・ ギャザーの役割をワークシートに記入する。</p> <p>・ ギャザーの縫い方とポイントを、ワークシートに記入する。</p> <p>4 配布された布にギャザーの合い印をつける。早く終わった場合は、ミシンをかける。</p>	<p>個人</p> <p>一斉</p> <p>個人</p>	<p>・ ギャザーのあるデザインの見本を提示し、役割を考えさせる。【思・判・表】</p> <p>・ ギャザーの役割を説明し、板書する。</p> <p>・ ギャザーの縫い方を見せ、説明する。布の種類やギャザーの分量等によって変化することも説明する。</p> <p>・ 見本の布で師範する。途中で分からなくなった場合は、タブレットで再確認できることを説明する。</p> <p>・ 机間指導しながら、作業の進捗を確認する。【主】【知・技】</p>	<p>服</p> <p>ワークシート</p> <p>プロジェクター</p> <p>スクリーン</p> <p>ワークシート</p> <p>布</p> <p>タブレット</p> <p>布</p>
<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<p>5 本時の学習内容を振り返る。 振り返り・生かす</p> <p>6 まとめと次時の予告</p> <p>・ ミシンをかけて、布を寄せていき、製作の続きを行うことを確認する。</p>	<p>個人</p>	<p>・ 本時を振り返らせ、ポイントを丁寧に押さえながら製作することを説明する。</p>	<p>進度表</p>